

発行日 2023年3月31日

対象期間 2022年1月～12月

私たちは、地域と地球の
環境に配慮した事業者です



®環境省

エコアクション21

認証番号0001710

環境経営レポート

<http://www.sanwacoken.co.jp>



 **サンワコーケン**

〒363-0008 埼玉県桶川市坂田802
TEL048-728-0309 / FAX048-728-2739

目次

会社概要	2
環境経営方針	3
エコアクション2.1 環境経営組織	4
環境経営目標と中期活動計画	5
2020年度環境経営目標 環境活動計画達成・実施状況	6
美津和産業有限会社	7
環境関連法規制等への違反、 訴訟等の有無	8
代表者による全体の評価と見直し 及び次年度の取組内容	9
コロナ対策における地域貢献	11
当社におけるSDGsの取組	12
参考資料	13～ 25

会社概要

会社名 株式会社 サンワコーケン
代表取締役社長 高橋範幸
環境管理責任者 渡利久夫・野頭美穂



株式会社サンワコーケン
代表取締役社長 高橋範幸

高橋 範幸

住 所 埼玉県桶川市坂田802
創 業 昭和48年（1973年）
従業員数 11人（パート1名含む）
連絡先 TEL 048-728-0309 / FAX 048-728-2739
売上高 2020年度 356百万円
2021年度 382百万円
2022年度 385百万円
床面積 528㎡（160坪）
決算月 2月末日
関連事業所 美津和産業有限会社（住所：株式会社サンワコーケンと同）
2020年度16百万円 2021年度14百万円 2022年度14百万円
事業内容 シール・ラベル印刷関連機器の企画・設計、総合販売及びサービス
認証登録範囲 (株)サンワコーケン 美津和産業(有)



SOS-300EB



DV-320III



PT270α



環境経営方針

認証・登録番号

0001710

基本理念

(株)サンワコーケンは、経営理念に掲げる「組織改革」活動の一環として経営における課題とチャンスを踏まえ、事業活動のあらゆる面で環境に関する法規の遵守を誓約し、環境経営を継続的に改善することで、持続的な循環社会の実現に向けて地球温暖化対策に貢献いたします。

環境指針

循環社会の構築

- ・ラベル製品仕上げの現場で省力化に貢献する商品の販売
- ・循環社会に対応した計画生産と製品の設計・開発

環境保全の構築

- ・全社員で環境意識を高める教育活動の推進
- ・紙・電力・燃費に対する売上効率の向上

省資源化の構築

- ・資源となる産業廃棄物の適切な分別のリサイクル処理
- ・エネルギーの使用量の把握と削減

令和4年12月5日 改定

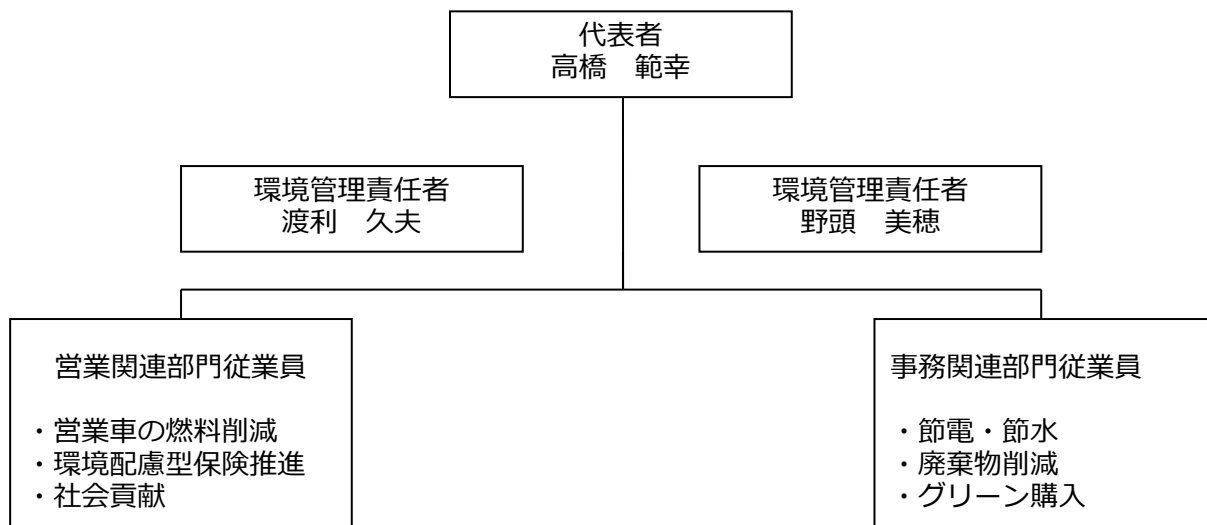
株式会社 サンワコーケン

高橋 範幸

環境管理責任者 渡利 久夫
環境管理責任者 野頭 美穂

エコアクション21環境経営システム組織図

EA21を推進するに当たり、最高経営責任者と環境管理責任者を2名任命しました。なお、「EA21環境保全事務局」を設置し、議長は最高経営責任者が務め、環境保全活動を推進します。



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能を準備する ・ 環境管理責任者を任命する ・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知する ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施する ・ 環境活動レポートの承認する ・ 経営資源を投入する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築、実施、管理に責任を持つ ・ 環境目標・環境活動計画書を確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境活動レポートの作成
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営目標と中期活動計画

2021年～2023年までの中期環境経営目標を下表のとおりです。基準値は2019年度の実績値を基に設定しています。

中期環境経営目標

環境経営目標	基準値 (2019年)	2021年	2022年	2023年
①CO2排出量 (CO2-kg/年)	60,546	基準値以下	基準値以下	基準値以下
②電力使用量 (CO2-kg/年)	12,852	基準値以下	基準値以下	基準値以下
③軽油使用量 (CO2-kg/年)	42,640	基準値以下	基準値以下	基準値以下
④灯油使用量 (CO2-kg/年)	5,055	基準値以下	基準値以下	基準値以下
⑤廃棄物排出量 (kg/年)	1,230	基準値以下	基準値以下	基準値以下
⑥水道使用量 (m3/年)	207	基準値以下	基準値以下	基準値以下
⑦環境提案	4件	基準値以上	基準値以上	基準値以上
⑧自主製品の回収	7件	基準値以上	基準値以上	基準値以上

※化学物質は使用がないため目標設定していません

電力のCO2排出係数 0.457kg-CO2 (東京電力:2019年)

2022年度環境経営目標 環境活動計画 達成・実施状況

環境方針		具体的取組	責任者		年間実績	実績・取組の評価		環境管理責任者のコメント
		(手段)				達成状況	実施状況	
		以下の項目による				達成	実施	
環境保全	1 二酸化炭素排出量 kg-CO2	電気使用量の削減	野頭	目標	60,546	達成	◎	二酸化炭素排出量は営業活動における燃料費が7割を占める。 電気に関しては日々の天候等に合わせた節電が定着しているため、今後は目標達成を目指す。 エアコンの利用を推進したことで使用量は抑えられ、タイマー使用の徹底も浸透してきた。 軽油は営業利用等も考慮し、適正な使用を保ちたい。
		軽油・灯油の使用量の削減		実績	58,525			
	①電気使用量 kg-CO2	エアコンの温度管理	野頭	目標	12,852	達成	◎	
		照明器具等見直し 各エリアでの消灯点検		実績	12,207			
	②灯油使用量 kg-CO2	各エリアでタイマー使用徹底	野頭	目標	5,055	達成	◎	
				実績	3,655			
③軽油使用量 kg-CO2	節約手順確立 エコドライブ実施 車両一斉管理	野頭	目標	42,640	ほぼ達成	○		
			実績	42,662				
省資源化	2 廃棄物排出量削減 kg	古紙のリサイクル 地域の福祉施設に寄付	高橋	目標	1,230	未達	▲	廃棄物で有償化出来るものは無いか再検討。地域でのリサイクルも定着化 2021年産廃業者が休業していた
		コピー用紙裏紙使用		実績	1,773			
環境保全	3 水使用量削減 m ³ 現状維持	トイレの節水	野頭	目標	207	未達	▲	水道は老朽化のため水漏れ多し 敷地内の水道管 現在漏水箇所を修繕済
		水道管等の水漏れ点検		実績	435			
環境保全	4 環境提案件	社員からも積極的に提案をもらう	高橋	目標	4	達成	◎	もっと提案が出るようにしたい
				実績	4			
循環社会	5 自主製品の回収台	旧タイプの商品を回収する	渡利	目標	7	ほぼ達成	○	当社旧モデルを下取りすることで得意先から喜ばれています。
				実績	7			

※毎月負荷の自己チェック表記の折数字を把握しているため問題があればすぐに対処しています

※化学物質は使用がないため目標設定していません

継続取組中で、◎達成（目標90%超）、○ほぼ達成（目標90～70%超）▲未達（目標70%未満）

美津和産業株式会社

当社の完全子会社として、社員1名が下記の業務を担っています。エコアクション21の環境活動、環境負荷は当社活動に包含されています。

看板製作

- ・ 駅前大型看板
- ・ 野立て看板

ポスター・チラシ

- ・ 法人パンフレット
- ・ 製品カタログ

名入れ商品制作

- ・ オリジナルグッズ
- ・ 制作
- ・ 販促商品制作

Speedy
High quality
Low cost



環境関連法規制等への違反、訴訟等の有無

当社の企業活動に関連する法令等として、これまでに10項目の法律・条令を整理しました。これらを検証して、必要な改善を実施していきました。当社は創業以来、関係当局からの違反の指摘、外部からの苦情や訴訟はありません。

今後も引き続き関連法規制の遵守状況を定期的に評価いたします。

また、近年法規制等への変化が激しいことを踏まえ、随時インターネット（国・県・市）にアクセスし現状を把握して法令の遵守を徹底します。

環境側面・設備/環境影響	☆法規制名/規制対象	遵守状況
排気ガスの発生/大気汚染、健康障害	☆自動車NOx・PM法 1. 窒素酸化物対策地域/粒子状物質対策地域(両者同一地域、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、三重県、大阪府、兵庫県) 2. 車種規制は道路運送車両法による ☆埼玉県生活環境保全条例	● ●
生活污水の発生/水質汚濁	浄化槽法	●
廃棄自動車のリサイクル化/資源枯渇の抑制	☆自動車リサイクル法（2005年1月1日本格施行）	●
廃棄物の発生/埋め立て場の逼迫	☆廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法) 1. 事業活動に伴う産業廃棄物 廃プラスチック/金属くず/ダンボール等 2. 一般廃棄物 産業廃棄物以外の廃棄物 3. 水銀使用製品廃棄物の保管と専門業者への委託 桶川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	● ●
フロン排出抑制	フロン排出抑制法 業務用エアコン(3台)について、三ヶ月に一度簡易検査を実施する。(16条)	●
環境配慮型製品の使用/汚染の予防	☆国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン 購入法)1事業者	●
環境保全教育の提供/環境汚染の予防	☆環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律(環境教育推進法)	●
作業員への労働安全衛生	労働安全衛生法	●

<環境受付>

2007年2月よりホームページに環境受付をメールにて受付けております。また、代表番号でも全ての対応、受付を行っております。

代表者による全体の評価と 見直し及び次年度の取組内容 1



エコアクション21の認証取得から15年目となりました。15年目の経験として、通年データ精度の高いデータを月毎に算出できる仕組みが整っているためデータの計測については安心して環境報告書に記載することが出来ました。

環境についての社内意識は、環境活動を通じて全社員にも伝わり日常的な物品の仕入れにも「エコ」を意識して受発注が出来ていると実感しております。

節約によるCO2の削減には限度がありますので、今後は全ての部署において新しい対策を講じていきたいと思っております。

<EA21環境保全事務局>

2022年度は、環境に関する会議については日常業務に支障がきたさぬ様随時行っております。

また、社内環境の整備として清掃活動を毎朝、最高経営責任者と環境管理責任者により行っており、お客様がいつ来てもきれいな事業所を心がけております。

今後は、効率よい環境活動ができる仕組みをさらに充実していくことをテーマにしていきたいと思っております。

<財務グループ>

2022年度の経営環境も引き続き、資金繰りに影響が出ないように、十分な配慮を行ってまいりました。

来期にかけて、売上向上という側面では、仕入れも増える分、必要にして十分な資金調達を心がけていきたいと思っております。

また、環境配慮という側面では、裏紙利用の促進や、暖房・照明等の節電にも心配りしながら環境に配慮した財務グループとして運営してまいります。

<事務グループ>

2022年度は、事務員の営業アシスタント役として積極的な行動が効を奏しております。事務用品の手配から営業の細かい雑務まで仕事の範囲としており、お客様からの伝達事項を営業マンに確実情報伝達ができるよう心がけていました。今後も営業効率の上がる事務を心がけてまいります。

<営業グループ>

桶川本社で、全国のユーザーに営業、納品、メンテを行っております。営業車両の管理は、「営業車管理利用報告書」を出張帰社時の提出義務付けにより、営業車両の管理がより明確になりました。

2022年は機械販売の売上に関しては、増益増収となりました。社内での仕事の取組体制も様々な要因により好転しており、内部体制の骨組みがしっかりしてきた様子が伺えます。当然のことながら、売上に貢献する環境活動として、弊社にて販売した機械の回収も含め売上効率と環境効率があがる対策を講じていきたいと思っております。

全体の評価と見直し 2



<美津和グループ>

2022年においても、積極的な使用領域の制限、就業時間外制限を行ってきました。

昨年と同様、節電、灯油暖房の節減につながったと評価できます。

天井修繕に伴い事務所を改築し、冷暖房等の効率UPを図っております。

RPFとして活用できる資源ごみが多く含まれており、適切な産廃処理により

活動スペースの有効利用が可能となりました。

代表者による全体評価と見直し 及び次年度からの取り組み内容

環境活動も審査を重ね、新たな局面に差し掛かっていると言えます。

日々の節電や資源のリサイクル活動等は、日常的に無理なく継続できていると感じています。

これからは、一步踏み込んでさらなる節電、リサイクル活動を実現させるための積極的な方法を模索していくべきだと考えています。

また、弊社の一番割合の高い車両燃料費の算出方法を見直し、売上、社員数に対しての車両の管理を行って行こうと考えております。

尚、環境経営目標 及び 環境経営計画は次年度も同様に持続いたします。

『見直し』

- ・ 環境経営方針 変更なし
- ・ 環境経営目標及び環境経営計画 変更なし
- ・ 実施体制 変更なし



環境関連における地域貢献

昨年に引き続き新型コロナウイルスにより世界中に影響のあった一年となりました。

昨年度埼玉りそな銀行と契約したSDG s 私募債は今年も引き続き契約更新しており一部が埼玉県への寄付を盛り込んだ内容になっております

切手、はがきボランティアに協力しました



















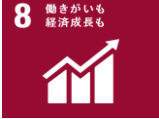
書き損じはがきを寄付して、社会貢献事業『手紙を書こう！プロジェクト』のために役立てられました

社内で社員が使用したペットボトルの蓋を集めています
蓋2キログラムが小児ワクチン1回分に代わるそうです

他にも出来る事がないかなど、社員同士で話し合いの場を設けております

当社におけるSDG s の取組

(☆印：エコアクション21を含む)

分野	取組内容	取組対象	SDG s 目標 (ロゴ)
エネルギー	→ 使用量削減	— ☆電気、ガソリン、軽油	→  
資源	→ 使用量削減	— ☆コピー用紙 電子媒体の活用	→ 
廃棄物	→ 発生量削減	— ☆一般廃棄物、産業廃棄物	→ 
	→ 3R推進 リデュース、リユース、リサイクル	— ☆製品の修理、再利用 ☆古紙リサイクル	
大気	→ 温室効果ガス排出量削減	— ☆CO2排出量の削減 ☆エコドライブ	→  
	→ 大気汚染物質排出量削減	— ☆エコドライブ	→  
水	→ 使用量削減	— ☆水使用量削減	→ 
生物多様性	→ 事務所・社有地での生物多様性	— 緑化、社有地の保全	→ 
	→ 環境教育	— ☆社員教育、啓発	→  
製品・サービス	→ 開発	— 環境配慮設計	→  
	→ 製造工程	— ☆省エネ、環境負荷低減	→  
社会・地域	→ 貢献	— ☆地域活動支援	→ 
雇用	→ 条件	— 高齢者雇用 健康診断実施	→  

参考資料

2022年の環境経営活動の資料を開示します。

○主要な環境経営活動と実績・評価

<<環境保全>>

- ①環境教育の推進
- ②裏紙使用率
- ③電力使用量の削減
- ④灯油使用量の削減
- ⑤燃料使用量の削減
- ⑥水使用量

<<省資源化>>

- ⑦産業廃棄物発生の数値化

<<生産計画>>

- ⑧生産計画（外注先）の推進

<<生産循環>>

- ⑨自社商品の回収リサイクルの推進
- ⑩古紙リサイクルの推進

主要な環境経営活動と実績・評価 1 ＜＜環境保全＞＞

1. 環境教育の推進

＜＜環境提案 環境経営活動の見直し＞＞

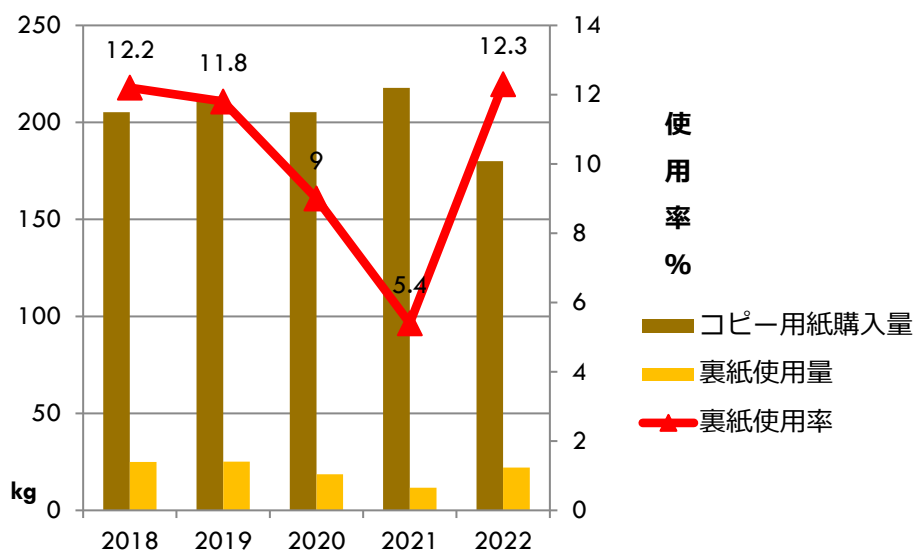
近年は、エコアクションの審査における改定もあり、各帳票の中身も大きく変わってきました。
新しい内容を少しずつ理解し、社内に浸透させることを目標に取り組みます。

2022年度の環境教育の実践			
区分	テーマ	内容	評価
省エネ(燃料)	エコドライブ	運用のルーチン化	○
省エネ(電力)	室温設定	同上	○
省資源	使用済み製品の回収	顧客とのコミュニケーション	○
緊急事態	火災	手順周知	○
緊急事態	連絡体制	同上	○
環境全般	SDGs	理解を深める	○
環境全般	課題とチャンス	周知	○

2. 裏紙使用率

今年度は、2018～2022年までの5年分のデータを抽出しました。
この内容をもとに裏紙の使用率を比較しました。

今年度は昨年と使用率高めの数値となっております。
裏紙の使用量が定着していることが見受けられます。



2022年購入量
A4 90冊 × 2.0kg = 180kg

180kg

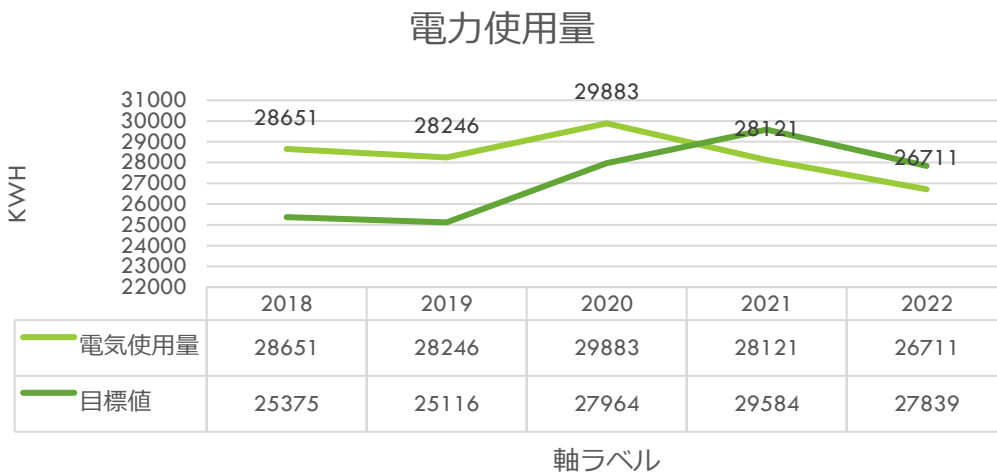
3. 電力使用量の削減

電力に関して、2018年～2022年までのデータを比較してみました。

2022年は前年と対比すると減少しました。

火の元チェック表によるタイマー使用の定着などにより、消し忘れ等は無くなって
 おります。

今後も猛暑等により増減は予想されますが、年間を通しての使用量は安定して
 きていると考えます。

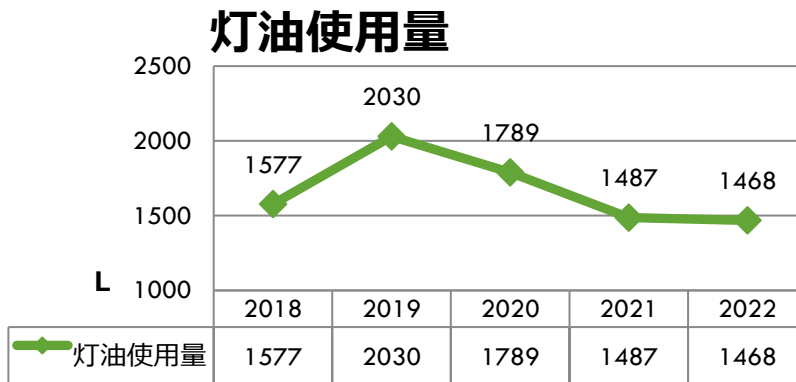


4. 灯油使用量の削減

灯油に関して、2018年～2022年までのデータを比較してみました。

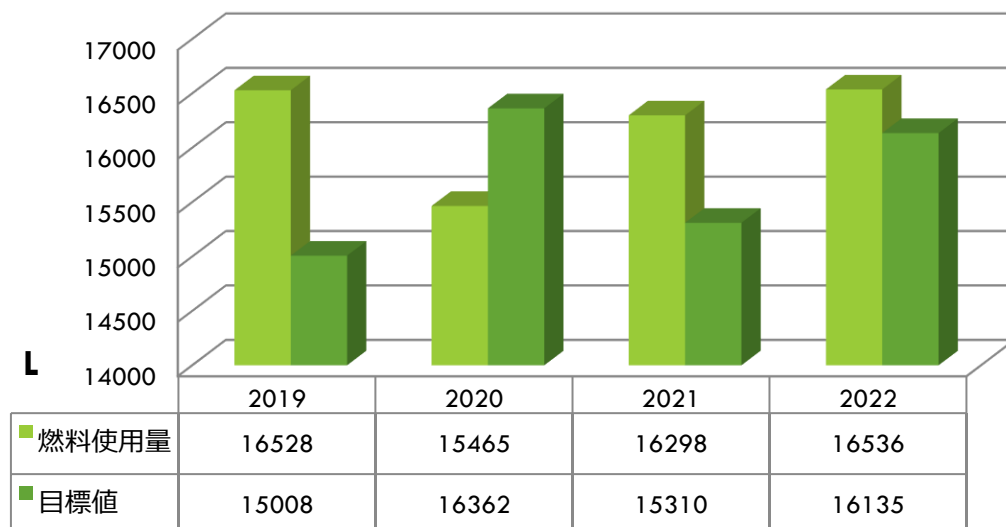
使用場所の限定と、電気エアコンの利用を推進してきました。

また、冬の使用ですが、タイマー使用の徹底と「火の元チェック表」による規則的
 な習慣が徹底しました。

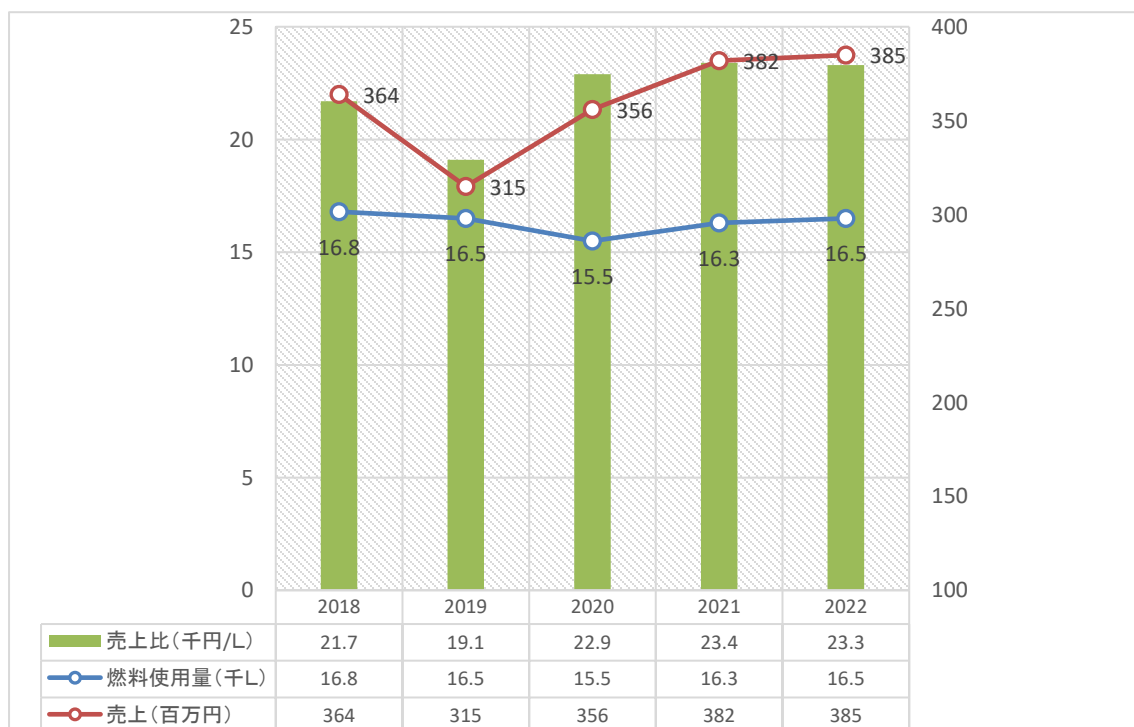


5. 燃料使用量の削減（軽油）

（1）燃料使用量目標と実績



（2）燃料1000 L当たりの売上



当社の営業車両は、リフト付商用ワンボックス車6台がフル稼働しています。その他車両は商用トラック2台となります。その機動力を駆使して、全国のラベル業者様に「営業、納品、メンテ」をワンストップサービスとして積極展開しています。

2022年は、社内的な営業・業務等のスリム化を図り、営業効率の向上に努めてまいりました。出張の多い弊社の体制のなかで、「営業車管理利用報告書」の提出の義務付けによる効果は大きく、ワンボックス車両6台商用トラック2台の平均燃費は「11.2km/L」となりました。効率的な運用ができてきたと感じています。

2022年5月 新トラック『キャンター』導入

また燃費当たりの売上が少しずつ良くなっていました。

また、走行距離は月平均で「14,081km/1台」となりました。

コロナ禍で出張も制限され、営業形態を模索する日々もありました

<<車両管理として、下記書類が機能しており管理履歴が明確になりました>>

営業車管理利用報告書

→出張帰社後に義務付けし走行距離、燃費の計測、安全運転、気づいた事を報告
タイヤ交換確認書

→12月末までにスタッドレス対応、4月末までにノーマル対応、
全ての車両の交換を管理チェックしております

オイル交換

→営業車管理利用報告書に車両担当者による随時交換報告を行なっております

事故

→事故に関しては、安全運転が履行され、事故報告はありませんでした。

電話対応

営業は現地へ

修理・アフターサービス



6. 水使用量の削減

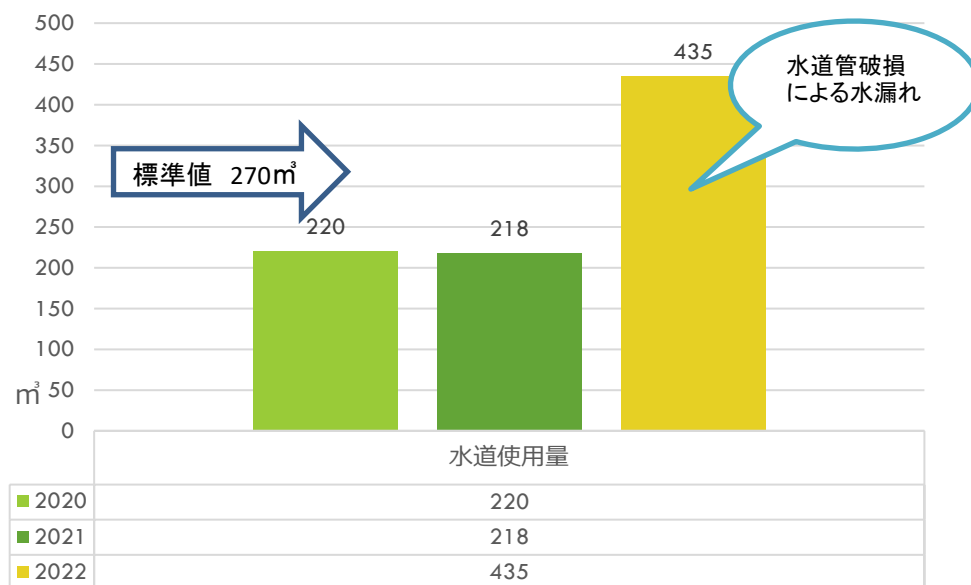
2022年1月～12月の水の使用量は、435m³となり大幅に増量しました。(前年比)

敷地内の水道管の老朽化により、修理の必要な箇所が増えてきました

昨年度の水漏れは現在は解消しています

浄化槽の保守点検は、4回/年行いました。定期点検も年1度行っています。

下記表に比較増減表を掲載します。



7. 産業廃棄物発生量の数値化

2022年の日本ウェストさんに処理していただいた産業廃棄物の総廃棄量は、1773kgになりました。

今年度のゴミの廃棄量については、昨年より増量しました。

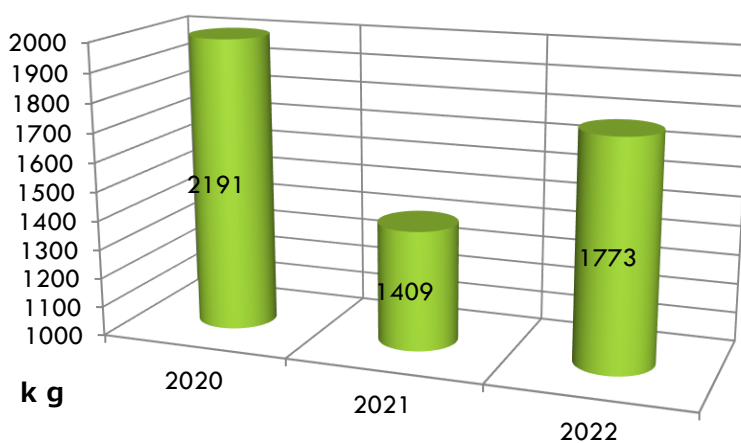
社員の皆さんにおいては、日々の廃棄物を減少する取り組みが習慣になり適切な廃棄量は達成できていると考えられます

具体的には、紙コップの廃止 裏紙の積極使用 ダンボールはリサイクルを徹底することが習慣付けられております。

(現在はコロナ対策のため紙コップ使用しております)

今後は更なるリサイクル先等を探求し、産業廃棄物の削減に努めます。

総廃棄物量



	2020	2021	2022
■ 総廃棄物量	2191	1409	1773

主要な環境経営活動と実績・評価 7 ＜＜計画生産＞＞

8. 計画生産（外注先）の推進

＜適正在庫の数値化、棚卸のグラフ化＞

毎月の販売実績表に基づき、弊社で販売した機械を、3ヵ月ごとにデータを集計しております。この結果で、毎年の機械の販売台数、売上推移、平均機械単価を観察することができました。また、在庫精度向上のため導入したバーコードリーダに関しては、前年同様「機械本体」の運用を継続して行っております。年末は、営業車両の適正な車中在庫量を確認し、部品在庫の流通を促しました。

＜外注先への発注量の最適化＞

2022年は、社内の効率化が進められ財務内容的にも健全性を保てる結果となりました。機械在庫に関しては、不測の事態もとらえ、必要にして十分な対応を心掛けてまいりました。適正在庫量は確保することができ、発注量の最適化は向上していると感じます。

主要な環境活動と実績・評価 8 ＜＜生産循環＞＞

9. 自社商品の回収リサルの推進

2022年のリサイクルの推進としては、営業展開における下取りを通年を通して積極的に展開をいたしました。

その結果、旧タイプの下取り案件は7台となりました。

この対象品目は、年度内に有価物として適正処理準備をしています。

引き続き、弊社導入機械のリサイクル推進を進める為、下取り推進をいたします。

回収した機
械は分解
有価物とし
て
処理



主要な環境経営活動と実績・評価 8 ＜＜生産循環＞＞

10. 古紙リサイクルの徹底

ダンボール・新聞・古紙の分別回収を社内的に行い、リサイクルの推進に努めました。ダンボール・新聞紙は、地域の回収先にて適正処理をしていただいております。

回収先は、桶川市のボランティア施設にて活用していただいております。

2022年の廃棄物としてのダンボールは、「44.6kg」ありましたが、すべてリサイクルされました。



地域活動支援センター
さといも作業所

活動の一つに地域のお店や企業を回り、段ボール、新聞紙等を回収しています

環境活動レポートの公表



今後「環境活動レポート」は、年1回原則として4月に発行し外部からの要請があった場合には、閲覧が可能なようにいたします。

また、自社のホームページにおいて、これを公開いたします。



捺印欄

高橋	渡利	野頭

事業内容



- 商号** 株式会社 サンワコーケン
- 所在地** 〒363-0008 埼玉県桶川市坂田802番地の2
- TEL/FAX** TEL 048-728-0309/FAX 048-728-2739
- 設立** 1973年5月1日
- 資本金** 1000万円
- 代表取締役** 高橋 範幸 (生年月日 昭和46年3月8日)
- 事業内容** シール・ラベル関連機器の企画・設計、総合販売及びサービス
UVインキ、その他の印刷資材の販売
上記に付帯する一切の業務
- 許認可** 「機械工具商」埼玉県公安委員会許可第431320019043号
「エコアクション21」認証登録番号0001710
- グループ会社** 美津和産業有限会社、有限会社栃木オートメーション
- 提供品目** **【機械】** オートカッターDHシリーズ・PT- α シリーズ・PTS- α シリーズ
スリッター、高速スリッター、巻取機、巻返し機、巻換巻締機、
ラベル検品機、ラベル検品スリッター、紙管切、折り機、スプレーBOX、
カス上げ機、帯掛機、シュリンク包装機
【消耗品】 シール用UVインキ各種
印刷資材各種 (パウダー、UVランプ、フレキシブル刃等)
【環境機器】 食品資源リサイクル機器、包装食品資源分別機、電解水衛生環境システム
- 主要取引先** 岩崎鉄工株式会社 大阪シーリング印刷株式会社 王子タック株式会社
株式会社恩田製作所 株式会社サトー 三起機械株式会社 三條機械製作所株式会社
シーレックス株式会社 株式会社志機 DIC株式会社 大日本印刷株式会社
大日本商事株式会社 リンテック株式会社 シール印刷関連会社 ほか
- 取引銀行** みずほ銀行 大宮支店、三菱東京UFJ銀行 上尾支店、群馬銀行 上尾支店
埼玉りそな銀行 桶川支店、埼玉県信用金庫 桶川支店、足利銀行 桶川支店
- 加盟団体** 日本印刷産業機械工業会、全日本シール印刷協同組合連合会、北海道シール印刷協同組合
東北シールラベル印刷協同組合、東京都正礼シール印刷協同組合、東京都ラベル印刷協同組合
神奈川県シール印刷協同組合、東海北陸シーリング印刷協同組合、京都シール印刷工業協同組合
シール印刷大阪府協同組合、四国シール印刷協同組合、新潟県シール印刷工業会

経営理念



「経営理念」

当社の経営理念は、以下にあげる
三つの革新を追究するものとする。

“技術革新”

自社製品の品質向上、付加価値を
創造する技術力を追究する。

“組織革新”

様々な時代の変革に対応できる
組織力の追究をする。

“自己革新”

仕事を通じて自らの常識の殻を
破る自己判断力を追究する。

この革新を遂行することにより、
お客様を通じて社会に貢献していきます。



高橋 範幸

平成十七年三月制定